

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月24日更新

事務事業名		菊池地域人権・同和教育連絡協議会参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局	課長名	飯開輝久雄
	施策	12	人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名	二瀬 義継
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進	所属班	啓発教育班	(内線)	5334
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池地域人権・同和教育連絡協議会への参画。人権・同和教育の研究と推進を図る為、市町村合併に伴い一旦解散した菊池郡市人権・同和教育研究協議会を、平成20年8月、菊池地域人権・同和教育連絡協議会として編成直した。平成29年度は、会長及び事務局を担当した。 ※平成24年度より、人権教育推進協議会運営支援事業(事業番号10880)に統合される。
【業務の流れ】	総会、役員会への出席。行政職員及び社会教育指導員等の研修会へ参加。負担金の支出。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	若い職員は、実体験が少なく知識も乏しいと指摘されている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	菊池地域2市2町で構成する同協議会の総会、役員会等の会議や研修会に参加し行政職員、学校職員等の人権・同和教育の推進を図った。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 菊池地域2市2町で構成する同協議会へ加入し、総会、役員会等の会議や研修会へ参画する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 総会等会議の回数 イ: 総会等会議への参加人数	予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	菊池地域人権・同和教育連絡協議会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 団体 ア: 菊池地域人権・同和教育連絡協議会への加盟団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	人権・同和教育の研究と推進が図れる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人 ア: 研修会への参加者数
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
研修会に一人でも多くの職員が参加することが重要である。目標値については、毎年各市の参加割当職員数を設定。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 回		7	5	5	6				
	イ 人		10	8	10	11				
② 対象指標	ア 団体		12	12	12	12				
	イ 人									
③ 成果指標	ア 人		81	57	70	69				
	イ 人									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0				
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	正規職員従事人数	人	4	4	4	3				
	延べ業務時間	時間	380	230	0	200				
(B) 人件費計	千円	1,503	906	0	792					
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,503	906	0	792					

事務事業名	菊池地域人権・同和教育連絡協議会参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	----------------------	-----	----------	-----	---------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						